

『Shall we ダンス?』『それでもボクはやってない』
周防正行監督最新作
草刈民代のラストダンス

バレリーナ

監督・構成：周防正行

ダンシング・チャップリン

DANCING CHAPLIN ㊦

ルイジ・ボニーノ 草刈民代

振付：ローラン・ブティ 音楽：チャールズ・チャップリン／フィオレンツォ・カルピ／J.S.バッハ／周防義和

製作：フジテレビジョン／東宝／アルタミラビクチャーズ／電通／スオズ 製作プロダクション：アルタミラビクチャーズ 制作協力：FILM 助成：文化芸術振興費補助金 配給：アルタミラビクチャーズ／東京テアトル

©2011 フジテレビジョン／東宝／アルタミラビクチャーズ／電通／スオズ www.dancing-chaplin.jp 四角

Photo by Jean-Charles Verchère

ダンシング・チャップリン

DANCING CHAPLIN

「美しいものが見たかった。この映画は僕のバレエ入門である。」

周防正行

2009年7月、都内の撮影所で、ある作品がクランクインした。監督は「Shall we ダンス?」(96)や「それでもボクはやってない」(07)などの話題作で常に独自の視点で国内に留まらず海外でも注目を浴びてきた周防正行。彼が新作に選んだ題材は「バレエ」と「チャップリン」。撮影所の中に組まれたセットは床、壁ともに真っ黒。台本は、なし。周防の掛け声が響き、音楽とともに登場したのは軽やかに舞うチャップリン? 「美しいバレエを映画にする」ために新しい試みが始まった。

監督が選んだのはフランスの巨匠振付家ローラン・ブティのチャップリンを題材にした「ダンシング・チャップリン(原題:「Charlot Danse avec Nous(チャップリンと踊ろう)」)」。チャップリンの数々の名作がバレエとして表現された作品である。「ダンシング・チャップリン」は

1991年の初演からチャップリンを踊り続けるダンサー、ルイジ・ボニーノのために振り付けられた作品であり、世界で唯一この作品のチャップリンを踊ることができるバレエダンサーである。しかしルイジも還暦を迎え、肉体的に限界を迎えつつある。このままでは幻の作品になってしまう! と危機感を抱いた監督の強い思いからこの企画がスタートした。

本作『ダンシング・チャップリン』は映画化にむけて監督がイタリア、スイス、日本を巡り、草刈民代をはじめとする世界中から集まったダンサーたちの舞台裏60日間の記録である「アプローチ」を第一幕に、ブティの「ダンシング・チャップリン」の全20演目を13演目に絞り、監督が映画のために再構成・演出・撮影された「バレエ」を第二幕とし、最高に美しい体験をする事が出来るエンターテインメントに仕上がった。



Photo: Jean-Charles Verchère / Hidemi Seto

「踊っている私はもういない。これが私のラストダンス。」

草刈民代

2009年にバレリーナを引退し、女優へ転身した草刈民代。2010年はNHK大河ドラマ「龍馬伝」での一人二役、究極の肉体美で世間を驚かせた写真集「BALLERINE」(幼冬舎)などで話題をさらった。夫の周防監督との出会いとなった「Shall we ダンス?」(96)ではヒロインを務め、映画初主演にして日本アカデミー賞主演女優賞と新人俳優賞をダブル受賞した。本作では、『街の灯』の盲目の花売り娘をはじめ、コミカルな表情で楽しませる『キッド』のキッド役まで、女優としての才能も発揮して全7役をこなした。まさに彼女の36年のバレエ人生の集大成ともいえる最後のダンスとなった。

そして本作は監督の、バレリーナであり妻でもある草刈民代へのオマージュともいえる愛のメッセージである。バレリーナの夫として15年。バレエの世界に魅了されてきた周防正行がフィルムに残したかったもの。それは振付家、衣装デザイナー、バレエダンサーそれぞれが美を追求する姿、そして完成された美しい舞い。映画ファンもバレエファンも見逃すことのできないバレエ映画が誕生した!



監督・構成: 周防正行

ルイジ・ボニーノ 草刈民代

ジャン・シャルル・ヴェルシェール リエンツ・チャン ナタナエル・マリール マルタン・アリアーグ グレゴワール・ランシエ / ユー・ジーン・チャップリン / ローラン・ブティ

振付: ローラン・ブティ 音楽: チャールズ・チャップリン/フィオレンツォ・カルビ/J.S.バッハ/周防義和

製作: 亀山千広 エグゼクティブプロデューサー: 周防正行 企画: 石原隆/新坂純一/小形雄二/中村光孝 プロデューサー: 佐々木芳野/土屋 健/関口大輔/稲葉直人/西井省志/堀川慎太郎
撮影: 寺田雄郎/西村博光/高岡ヒロオ 照明: 長田達也/中山俊孝 監音: 杉山 篤 録音: 坂上賢治 演出補・編集: 尾形竜太 タイトルデザイン: 赤松陶博 助監督: 板垣竜彦 製作担当: 須加卓巳

衣装・装飾: ルイザ・スピナッツリ バレエマスター: ジャン・フィリップ・アルノー ヘアメイク: 馬場利弘/小沼みどり 通訳・アシスタントプロデューサー: 名瀬地 主
製作: フジテレビジョン/東宝/アルタミラビクチャーズ/電通/スズキ 製作プロダクション: アルタミラビクチャーズ 制作協力: FILM 助成: 文化芸術振興費補助金 宣伝協力: P2 配給: アルタミラビクチャーズ/東京テアトル

©2011 フジテレビジョン/東宝/アルタミラビクチャーズ/電通/スズキ www.dancing-chaplin.jp

4/16(土) ロードショー

チャップリン生誕記念日より



横浜線鶴居駅より徒歩7分・ららぽーと横浜 3F
TOHOシネマズららぽーと横浜
045(929)1040

JR・京浜急行川崎駅前・ダイス7F
TOHOシネマズ川崎
044(230)1122
近日公開